

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月27日

事業所名: ことばとあたま・体のリハ室(単位2)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	2 職員の配置数は適切である		4		休みが多く送迎業務に不安がある	家族さんの介護・介助等も休みを気兼ねせず取りやすい職場環境を目指しています。ただ、すぐに増員等の配慮ができる現状にないため、気を遣わせてしまい申し訳ありません。現職員で送迎ルート見直しや時間、人数の調整、他職員の送迎協力などで安全な業務遂行を行っている現状です。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1			周知方法、欠席時の回覧方法等の改善を図って参ります
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4				
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			PVT-RやWISC、S-M社会生活能力検査、各種アセスメントより客観的指標と理解向上に努めています
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			欠席など全員の一致を得ないこともあります、回覧などで保育面と療育面の説明～周知を図れる様に工夫して参ります
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1			まだ不十分な点もあり、常にセルフチェックを行ってまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			まだ不十分な点もあり、常に自己点検などを行ってまいります
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1			研鑽を重ねながら、よりよい支援を実践して参ります
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1	3			生活～登所リズム作りと環境設定、上下肢や身体機能、言語認知機能を組み合わせたサーキット運動、各種SST場面の設定など支援展開の周知を図って参ります	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている				対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	1			十分とは言えませんが、シームレスな支援には 欠かせない連携と捉えています。利用児童の接 続期に関する情報の共有に努めていきます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けている	3	1			周知方法の改善 勉強会や症例検討など他事業所との交流を今 後、増やしていきたいと考えています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3		1		地域交流はまだまだ不足しています。継続課題 です。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3		1		まだ十分とは言えません。継続課題
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	4				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2		2		業務外とならない範囲で、ペアレント・トレーニング なども今後、展開していきたいと考えています	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2		2		保護者の会なども今後、展開していきたいと考 えています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	2	1	1		公式な広報としてではないですが、メール等で活 動報告を行っています。 活動予定や会報なども今後、展開していきたいと 考えています
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	2	1	1		感染症に留意しながら、今後、展開していきたい と考えている部分です

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4			避難訓練の話し合いや実施・経路や集合方法とFBを図っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		4			避難訓練の話し合いや実施・経路や集合方法とFBを図っていきます。 ここには記されていませんが、不審者対応訓練も課題です
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3			支援計画やインテーク情報の周知と伝達を工夫していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				